

心理士検査

当院では、神経内科医師の指示にて女性の臨床心理士が認知・心理検査を行っております。

ルーチン検査として、mini-mental state 試験(MMSE)や改定長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)を行います。レーヴン色彩マトリックス検査(RCPM)やコース立方体組み合わせテスト(Kohs)を組み合わせることが多いです。

記憶について更なる検査を行う場合、リバーミード行動記憶検査(RBMT)、ウェクスラー記憶検査(WMS-R)、アルツハイマー病評価スケール(ADAS)やレイの複雑図形検査(ROCFT)を用います。言語障害のある患者さんは、ベントン視覚記名検査(BVRT)で評価します。軽度の障害の場合は、Montreal Cognitive Assessment Scale (MoCA)、a quick test (AQT)で評価をしています。認知機能の評価一般については、ウェクスラー成人知能検査(WAIS-Ⅲ)が使用されます。

遂行機能など前頭葉を評価する際には、frontal assessment battery (FAB)、trail making test (TMT)、ハノイの塔(Hanoi)、遂行機能障害症候群の行動評価(BADS)、ウィスコンシンカード分類課題(WCST)が用いられます。

うつ等の精神症状を鑑別するために、老年期うつ病評価尺度(GDS)、うつ病自己評価尺度(CES-D)、精神的健康尺度(GHQ)を用いています。

